

沖縄県気候変動適応センターの設置について

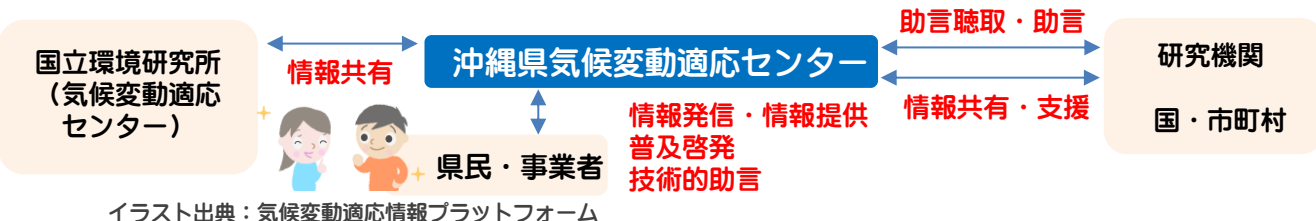
気候変動適応法第13条の規定に基づき、県内の気候変動の影響や適応に関する情報収集・発信拠点として、令和6年12月25日に沖縄県環境再生課に**沖縄県気候変動適応センター**を設置しました。

センターでは、県内の気候変動に関する情報を一元化し、県民の皆さまに必要な情報を発信していくことで、県内の**気候変動適応策**を推進し、持続可能な美ら島沖縄の実現を目指していきます。



沖縄県気候変動適応センターの役割

- 県民・事業者・行政機関等からの情報収集・整理・分析
- ホームページや出前講座、イベント等による普及啓発
- 各主体の適応策に関する技術的助言



イラスト出典：気候変動適応情報プラットフォーム

気候変動に関する情報提供について

気候変動によると考えられる影響（農作物の生育不良、生態系の変化）や、気候変動対策（緩和策・適応策）の優良先進事例に関する情報がありましたら、ぜひご提供ください。

【影響の例】

- 気温上昇による農作物の生育不良が発生するようになった。
- 今まで生息していなかった南方系の生きものがみられるようになった。

【優良事例の例】

- 地域独自で防災ハザードマップを作成している。
- 暑さ対策のため、ミスト装置を設置した。

詳しくはセンターホームページをご覧ください。

<https://www.lccac-okinawa.jp/>

沖縄県気候変動
適応センターHP



イラスト出典：気候変動適応情報
プラットフォーム

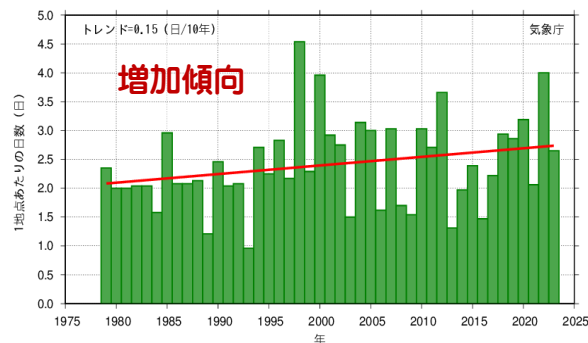
今回のテーマは「防災・減災対策」

近年、気温だけでなく極端な大雨も増加傾向にあり、これらは地球温暖化が影響している可能性があります。県内の降水量の状況や私たちにできる**防災・減災対策**について考えてみましょう。

県内の降水量の状況

沖縄気象台の「沖縄地方の気候変動」によると、**日100mm以上の大雨の回数の増加や年最大日降水量が増大傾向**にあります。

沖縄地方【アメダス】日降水量100mm以上の年間日数



出典：「沖縄地方の気候変動」（沖縄気象台）に加筆

令和6年11月の沖縄本島北部の大雨では、7日から10日までの総降水量は東村で656.0mm、国頭村奥で519.5mmの**記録的な大雨**となりました*。
*顕著気象現象速報「令和6年11月7日から11月10日の大雨について」
沖縄気象台



私たちにできること（防災・減災に関する適応策）

水害や土砂災害などに対して、私たちにできることをみてみましょう。

災害を予防するための心構え

- ・家族で防災について話合しましょう
- ・ハザードマップで避難経路を覚えましょう
- ・非常持ち出し品を用意しておきましょう
- ・天気予報・気象情報に注意しましょう

ハザードマップ
ポータルサイト



(国交省等)

非常持ち出し品
リスト



(首相官邸)

沖縄県の防災情報
ポータルハイサイ！
防災で~びるスマホ用



避難時の心構え

- ・ラジオ・テレビなどで正確な情報を得ましょう
- ・避難情報が発令された場合は速やかに避難しましょう
- ・家族や近所同士など必ず集団行動をとり、単独行動は避けましょう
- ・持ち物は最小限に留め、荷物はリュックなどで背負い、両手が使えるようにしましょう

トピックス

「第18回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト」で豊見城市のなないう児童クラブの児童が作成した、「**座安っ子防災マップ**」が**最優秀賞（県知事賞）**を受賞しました。豊見城市のハザードマップを参考に、地域の危険な場所や避難所へのルートを歩いて探索。海拔表示版やAED設置場所の確認、避難所になっている施設でヒアリングを行って、避難所での困りごとなども書き込んだ。



(発行・お問い合わせ先)

沖縄県 環境部 環境再生課 環境対策班

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2 4F

tel : 098-866-2064 fax : 098-866-2497

